

訪日客、円高でも高水準

2月189万人、中国がけん引

日本政府観光局が16日
発表した2016年2月
の訪日外国人数(推計値)
は189万人となり、前

年同月比で36%増え過去
2番目の高水準だった。
中国が49万8千人と39%
増え全体を引っ張った。
人民元安・円高の逆風に
もかわらずビザ緩和の
効果などで好調だった。
2月の全体の訪日客数
は15年7月の過去最高水
準(191万人)に続く。
国・地域別で首位は中国
の49万8千人。韓国(前
年同月比53%増の49万
人)、台湾(26%増の34
万9千人)、香港(39%
増の15万1千人)が続い
た。米国が14%増の6万
7千人になるなどアジア
以外も総じて増加した。
ビザ緩和や消費税の免
税制度拡充などでアジア
を中心に買い物目的など
の訪日客が伸びている。
韓国や台湾、香港などは

2月に旧正月を迎え、訪
日旅行がしやすい環境だ
った。中国の旧正月に伴
う訪日旅行は休暇の前倒
しで1月下旬から始まっ
たため1月に分散した
が、2月も好調だった。
中国では景気減速懸念
が強まり、中国株安や為
替の人民元安・円高が進
んだ。株安による実質的
な所得減や元安による日
本での購買力低下が逆風
として心配されたが、今
のところ訪日客が増える
勢いは衰えていない。
それでも中国景気への
不安は根強い。観光庁の
田村明比古長官は16日の
会見で「中国株や人民元
の動向と影響を注視して
いく」との姿勢を示した。